

# 平成19年度 予算のあらまし



快適なまちづくりを皆さんとともに進めていきます

予算は、この1年の市政運営を具体的に示したまちづくりの計画書です。どのように組み立てどのような目的に使用するのか、そのあらましをお知らせします。

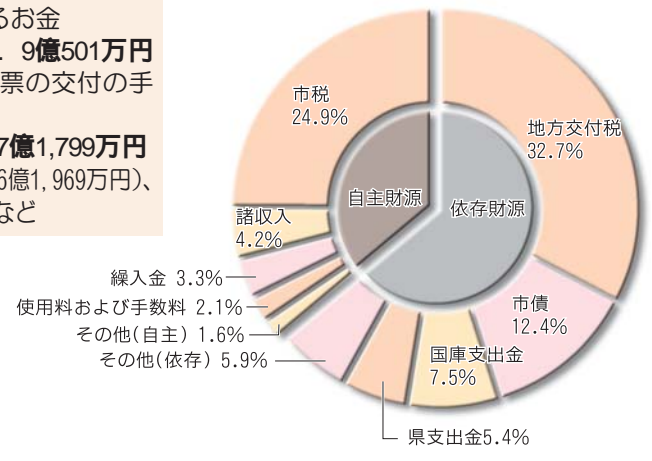
### 依存財源

**280億667万円(63.9%)**  
 地方交付税.....143億4,000万円  
 皆さんが納めた所得税など、国が徴収した税金の中から、市の財政力に応じて国から交付されるお金  
 市債.....54億3,720万円  
 事業を行うために、市が金融機関などから借りるお金  
 国庫支出金.....32億7,159万円  
 事業の財源の一部として使い道が特定され、国から交付されるお金  
 県支出金.....23億8,488万円  
 事業の財源の一部として使い道が特定され、県から交付されるお金  
 その他.....25億7,300万円  
 地方譲与税(11億430万円)、地方消費税交付金(9億7,000万円)など

### 自主財源

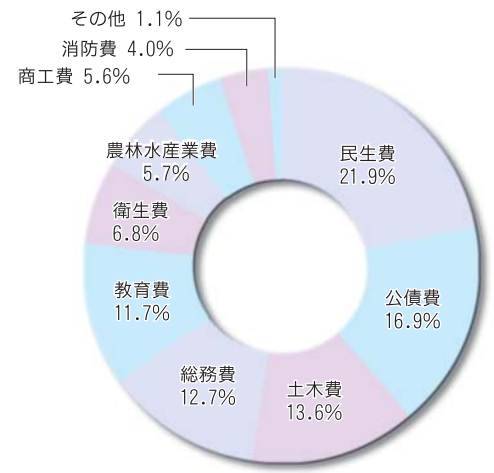
**158億595万円(36.1%)**  
 市税.....109億2,115万円  
 市民税、固定資産税など  
 諸収入.....18億3,216万円  
 延滞金、預金利子、貸付金の元金・利子など  
 繰入金.....14億2,964万円  
 基金から繰り入れるお金  
 使用料・手数料.....9億501万円  
 施設の使用料、住民票の交付の手数料  
 その他.....7億1,799万円  
 分担金および負担金(6億1,969万円)、財産収入(9,829万円)など

## 歳入



## 一般会計

**438億1,262万円**



## 歳出 (目的別)

民生費.....96億1,875万円  
 公債費.....74億1,100万円  
 (市が借りたお金の返済に充てる経費)  
 土木費.....59億4,712万円  
 総務費.....55億5,357万円  
 (一般事務や財産管理、積立金などの経費)  
 教育費.....51億1,350万円  
 衛生費.....29億7,106万円  
 農林水産業費.....24億9,816万円  
 商工費.....24億5,468万円  
 消防費.....17億4,088万円  
 その他.....5億390万円  
 議会費(3億974万円)、労働費(1億5,216万円)、災害復旧費(200万円)など

# 未来につなぐ まちづくりのシナリオ

市の予算は、福祉・教育・道路整備など、わたしたちの生活に深く関わる事業を行うための「一般会計」、国民健康保険事業や下水道事業など、保険料・使用料などで特定の事業を行う「特別会計」と「下水道事業会計」の3つに分かれています。

**限られた財源を効果的に運用**

本年度の一般会計は、438億1,262万円。昨年度の6月補正後の予算と比較(※)すると、1.0%減少しています。

一般会計の収入(歳入)で最も多いのは、国から交付される地方交付税、次に多いのが皆さんに納めていただく市税です。

地方交付税については、合併市町村における特例的な算定により4.3%の増加を見込んでいます。また、市税については、国からの税源移譲を含め、全体で6.6%の増加を見込んでいます。一方、国から税源が移譲されたため、地方譲与税は41.3%の減少、国庫支出金は12.8%の減少しています。

国の補助負担金の見直しや税源移譲、地方交付税制度改革などの影響により、厳しい財政状況が続きますが、経費の削減に努め、本年度も充実した市民サービスの確保

## 平成19年度各会計予算の総括表 (単位:万円、%)

区分	平成19年度	平成18年度	増減額	増減率
一般会計	438億1,262	442億5,877	4億4,615	1.0
国民健康保険	94億3,709	94億8,742	5,033	0.5
老人保健	100億6,916	101億3,425	6,509	0.6
介護保険	68億1,026	67億3,594	7,432	1.1
介護保険サービス事業	1,460	1,467	7	0.4
簡易水道事業	3億4,089	4億8	5,919	14.8
石鳥谷東部営農飲雑用水施設事業	3,612	4,112	500	12.2
国民健康保険直営診療施設勘定事業	2億6,852	3億600	3,748	12.3
老人保健施設事業	3億1,207	3億190	1,017	3.4
公設地方卸売市場事業	7,914	8,994	1,080	12.0
下水道事業	52億3,011	53億2,374	9,363	1.8
農業集落排水等汚水処理事業	31億2,634	26億4,945	4億7,689	18.0
合計	795億3,692	797億4,328	2億636	0.3

## 上水道事業会計 (単位:万円)

区分	収支	予算額
収益的収支	収入	20億5,792
	支出	19億8,186
資本的収支	収入	6億5,505
	支出	12億5,018

**収益的収支とは**  
 水道料金を主な財源とし、施設の維持管理や借入金の利息などに使われます

**資本的収支とは**  
 企業債などを主な財源とし、施設の建設や借入金の元金返済などに使われます

**効果的なまちづくりを進めるために**

歳出では、限られた財源を効果的に活用できるように、事務事業の見直しを行い、優先度・緊急度を考慮しながら、事業の厳しい選択を行いました。

目的別に見ると、最も多いのは前年度より2.4%の増加した民生費。これは、子育て支援や高齢者の在宅サービス、障害のある方への支援など、福祉施策に充てられるものです。次に多いのは公債費ですが、前年度より0.1%の減少しています。また、土木費は、優良建築物等整備事業などの完了により、16.4%の減少となっています。

性質別に見ると、道路整備や教育施設整備などを行う普通建設事業費が6.2%の減少したほか、職員業務の効率化により人件費を2.0%の削減するなど、経常的な経費の抑制を図りました。

平成18年度の当初予算は、義務的経費を中心とした「骨格予算」のため、政策的な経費などを肉付けした6月補正後の予算額と比較しています



### 地域で支える 子育てと教育のまちづくり

- 母子家庭自立支援教育訓練給付金事業 ..... 60万円
- こどもセンター運営事業 ..... 545万円
- 放課後子ども教室事業 ..... 476万円
- 西南中学校校舎改築事業 ..... 5億5,553万円
- 幼児ことばの教室開設事業 ..... 505万円
- 就学前教育推進事業 ..... 34万円
- (仮称)花北地区社会体育館建設事業 ..... 1億9,662万円
- (仮称)総合文化財センター整備事業 ..... 300万円
- 埋蔵文化財などの調査研究の拠点となる施設の建設を進めます
- 姉妹都市交流研修事業 ..... 75万円



姉妹都市など文化・産業などの交流を進めます

### 交流・移住人口増加で 訪れたい・住みたいまちづくり

- 環境基本計画策定事業 ..... 511万円
- 花巻イーハトーブ大使活用事業 ..... 89万円
- 首都圏や関西圏に花巻市の応援団を増やし、情報の受発信により市の知名度向上を図ります
- 観光環状ルート構想推進事業 ..... 500万円
- 市内の主な観光施設を巡るコースを商品化して、誘客を促進します
- 都市公園整備事業 ..... 1,770万円
- 石鳥谷駅前イベント広場の整備と、都市公園内のトイレ水洗化工事を行います
- 生活道路整備事業 ..... 14億6,506万円
- 大迫・花巻間連絡バス運行事業 ..... 947万円
- 農業集落排水等污水处理事業 ..... 7億9,627万円
- 公共下水道整備事業 ..... 12億2,134万円

### 保健・医療・福祉のネットワーク 拡充で安心のまちづくり

- 第2回健康福祉まつり開催事業 ..... 165万円



健康まつりを通して、明るく楽しい健康づくりを進めます

### 都市内分権構築で 市民参画・協働のまちづくり

- まちづくり基本条例策定事業 ..... 111万円
- 市民憲章等推進事業 ..... 124万円
- 小さな市役所推進事業 ..... 2億円
- 市民団体等活動支援事業 ..... 300万円
- NPOや市民団体などが行う地域づくり活動を支援します
- 防災訓練事業 ..... 186万円
- 木造住宅耐震改修支援事業 ..... 600万円

### 市民本位の行政の まちづくり

- 行政評価システム推進事業 ..... 900万円
- まちづくり基金造成事業 ..... 9,420万円
- 市民の連携強化と地域振興を図るための基金を造成します
- 東和総合支所建設事業 ..... 8億9,902万円

その他の経費 152億7,384万円

- 物件費 ..... 50億8,072万円
- 施設の光熱費や各種委託料、備品購入などの経費
- 補助費等 ..... 27億2,984万円
- 事務組合や各種公益団体に対する補助金などの経費
- 繰出金 ..... 50億220万円
- 一般会計から特別会計へ支出する経費
- その他 ..... 24億6,108万円

歳出の中には、目的が異なっても同じ性質に支出されるものがあります。例えば、建設事業費は土木費だけでなく、教育費、民生費にも含まれます。このように性質ごとに歳出を分類したものが「性質別歳出」です

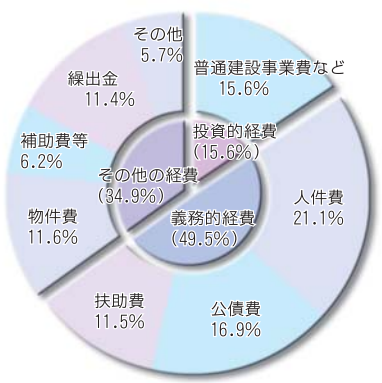
### 歳出 (性質別)

義務的経費 217億982万円

- 人件費 ..... 92億4,472万円
- 職員の給与や退職金などの経費
- 扶助費 ..... 50億5,455万円
- 児童手当や障害者、高齢者に対する助成費
- 公債費 ..... 74億1,055万円
- 建設事業などで借りたお金を返済する経費

投資的経費 68億2,896万円

- 普通建設事業費... 68億2,696万円
- 道路、河川、学校などの公共施設の建設、改修をする経費
- 災害復旧事業費 ..... 200万円
- 洪水、地震などで被害を受けた施設などを復旧するための経費



人ともちが  
共に輝くために

厳しい財政状況が続いていますが、限られた財源を効率的に運用し、大きな成果を上げるため、市では事業の重点化を図っています。本年度は市総合計画に掲げる重点項目「産業振興対策」や「子育て・教育対策」、保健・医療・福祉対策など、市民生活に直結する6つの項目を柱に予算を編成しました。最小の経費で最大の効果が上がるように、財源の効率的な運用に努めながら、その確実な進捗に向けて各種事業を展開してまいります。

まちづくりは皆さん一人ひとりが主役です。快適な市民生活の実現に向けて、本年度も健全な財政運営に努め、活力あるまちづくりを進めます。

### 平成19年度 主な事業の紹介

新規事業 = 新

#### 地域資源の連携強化で 産業振興のまちづくり

- 農地・水・環境保全向上対策事業 ..... 5,882万円
- 農業者と非農業者が連携して行う景観保全活動などを支援します
- 産業融合化推進事業 ..... 18万円
- 起業化支援センター運営事業 ..... 4,570万円

起業化や市内企業の分野進出、新技術新製品の開発などを支援します

- 中心市街地新規出店者経営支援事業 ..... 669万円
- 大迫中心市街地活性化施設整備事業 ..... 2億1,973万円

### 平成19年度一般会計予算を 市民1人当たりの 家計簿にすると……

歳入	
給料(市税)	10万3,826円
貯金の引き出し(繰入金)	1万3,591円
貯金の利子、貸付金など(諸収入)	1万7,418円
貸地収入(使用料・手数料)	8,604円
実家からの援助(地方交付税、国・県支出金)	19万 104円
銀行からの借り入れ(市債)	5万1,691円
その他	3万1,287円
合計	41万6,521円

歳出(性質別)	
食費(人件費)	8万7,888円
仕送り(繰入金)	4万7,555円
家具などの購入(物件費)	4万8,302円
車などのローンの返済(公債費)	7万 451円
医療費(扶助費)	4万8,053円
家のリフォーム(建設費)	6万4,922円
積み立て(積立金)	2,795円
その他	4万6,555円
合計	41万6,521円

※平成19年3月末日の人口(10万5,187人)で計算